

「耐震・制振（震）・免震」

「パッシブ切替型オイルダンパ（都市型狭小土地向免震ダンパ）」（p. 40）に記載

KYB技報編集委員 伊藤好文

近年の建築構造物は、地震時に建物自体と家財、居住者を守るため、以下の構造が考案されています。

1 耐震

耐震（構造）とは、建築構造物の柱や梁等の強度を高めて、地震エネルギーに耐えるようにする従来の構造です。

図1に耐震構造のイメージ図を示します。

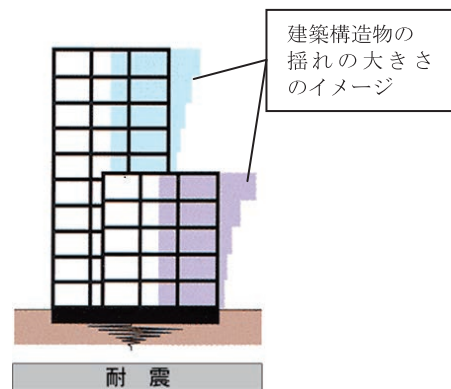


図1 耐震構造のイメージ図

2 制振（震）

制振（構造）とは、建築構造物の柱や梁等にダンパを設置して、地震エネルギーを吸収/消散させ変形を抑える機能を持たせた構造です。

図2に制振構造のイメージ図を示します。

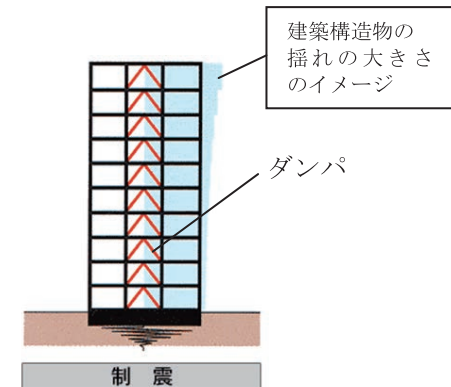


図2 制振構造のイメージ図

3 免震

免震（構造）とは、建築構造物と地盤との間にアイソレータと呼ばれる（免震ゴム、滑り支持、転がり支持、等）装置を設置することで、建築構造物の揺れを減じる構造です。

アイソレータでは、建築構造物に伝わった揺れを止めることができないので、揺れを止めるためにダンパを併設します。

図3に免震構造のイメージ図を示します。

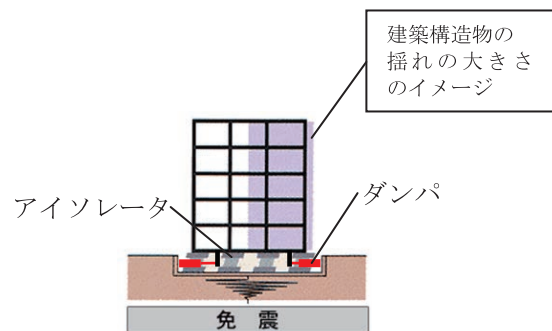


図3 免震構造のイメージ図